

35

山口県

若年層とJAをつなぐ

J A 山口県

峯重 卓哉

みねしげ たくや

若年層とJAをつなぐ

～将来のJAのために今すべきこと～

はじめに

1. 周南統括本部と管内の概況

①地域概況

②統括概況

2. 周南統括本部の課題と分析

3. 課題の解決に向けて

①こどもくらぶ戦略

②事業間をつなぐ戦略

おわりに

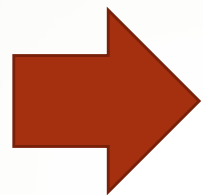
JA山口県 周南統括本部 峯重 卓哉



はじめに



12 J A



平成31年4月 JA山口県誕生

JA山口県経営理念

わたしたちは、親しみと信頼で人と人をつなぎ、
次代にわたり、ふるさとの農業とくらしを支え続けます



1. 周南統括本部と管内の概況



(令和4年11月時点)

周南統括本部管内 (周南市・下松市・光市)

人口	243,225人	(内65歳以上)	33%
		出生数	1,640人

	人数・店舗数	人口に対する割合	(内65歳以上)	
組合員数	40,267人	16%		
(内正組合員)	10,084人	4%		
(内准組合員)	30,183人	12%		
金融店舗数	17支所			
ローンセンター	1センター			
営農センター	4センター			
直売所	6店舗			
J A 全事業利用者	144,805人	59%	71,012人	49%
共済事業利用者	56,784人	23%		
信用事業利用者	81,781人	33%		

2. 周南統括本部の課題と分析

<SWOT分析による現状把握>

SWOT分析		
	強み (Strengths)	弱み (Weaknesses)
内部環境	<ul style="list-style-type: none">・ J Aの知名度・ブランド力・ 渉外担当者の出向く体制・ 総合事業（信用・共済・経済）の展開・ 蓄積された情報量・ 各部、会員事業の運営（女性部・こどもくらぶ・ちびっこ倶楽部など）	<ul style="list-style-type: none">・ 事業間での連携不足・ 情報発信不足・ 総合事業の活用不足・ 利用者の高齢化・減少
外部環境	機会 (Opportunities)	脅威 (Threats)
	<ul style="list-style-type: none">・ 子育て世帯の地域・ インターネット、SNSの普及	<ul style="list-style-type: none">・ 人口減少・ 少子高齢化・ 非対面ニーズの上昇

3. 課題の解決に向けて

① こどもくらぶ戦略

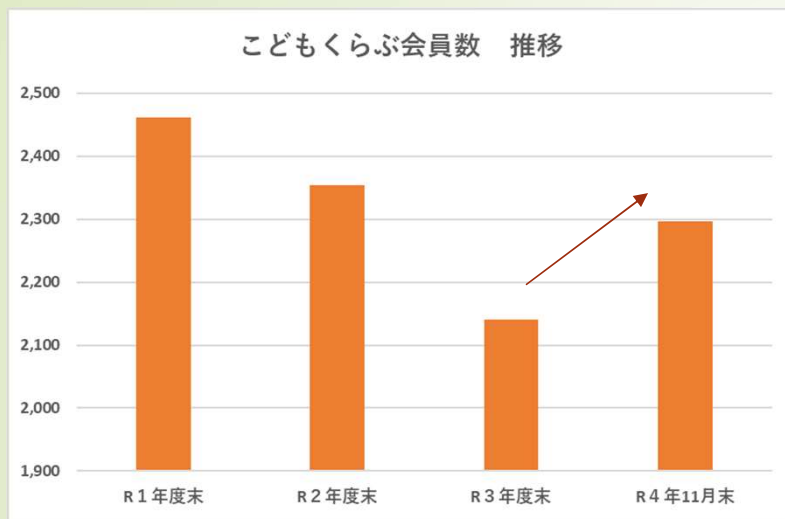
<STP分析>

STP分析	
	セグメンテーション
S	地理的 ・ 管轄内 家族構成 ・ 若年層（子育て世代）
	ターゲティング
T	管轄内の若年層（0才～小学生の子育て世代）
	ポジショニング
P	こどもくらぶ・ちびっこ倶楽部の活用 総合事業の展開

<こどもくらぶを商品として4P分析>

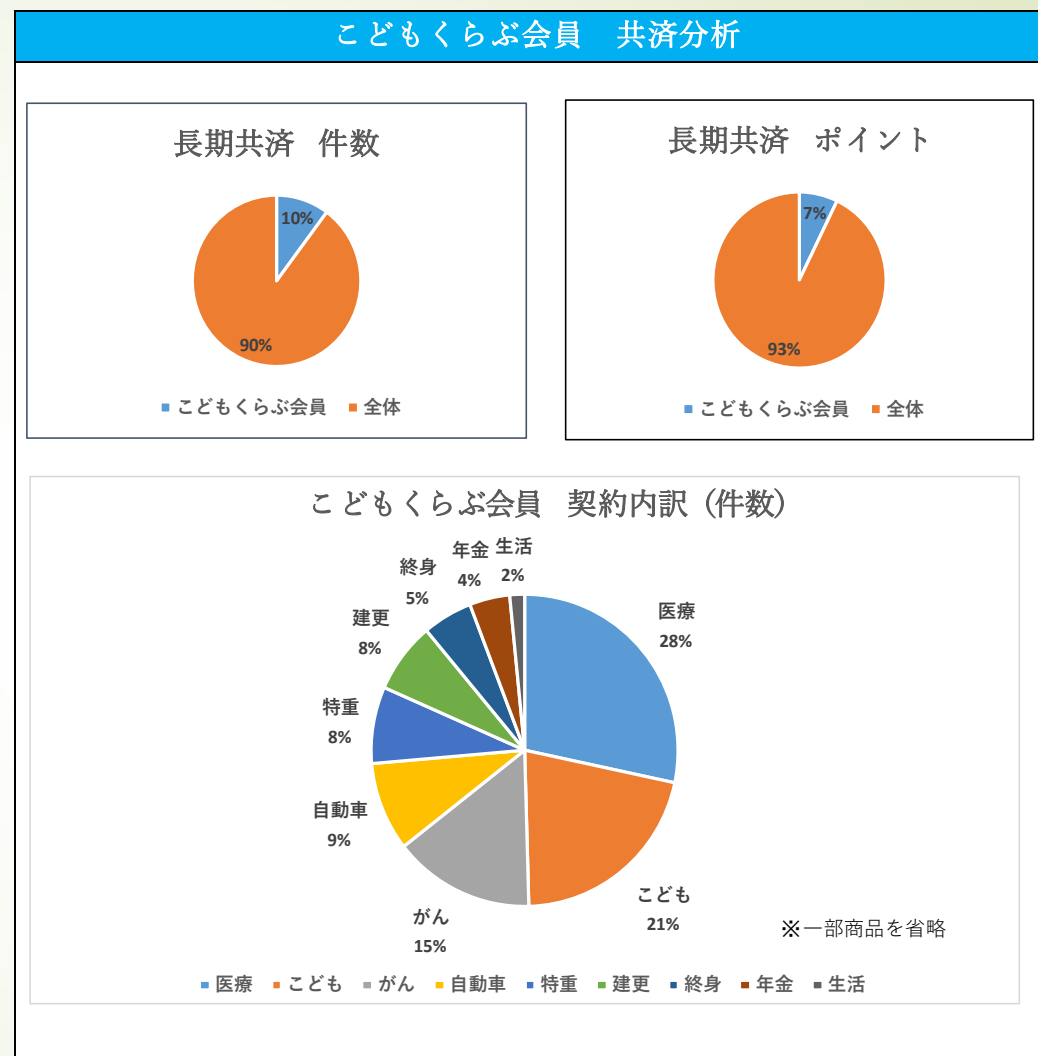
4P分析	
Product（製品）	Price（価格）
・ アンパンマンブランド ・ 加入者特典（誕生日プレゼント、 カレンダー、ヤママップ） ・ イベント	・ 無料
Place（流通）	Promotion（広告）
・ 支所、渉外 ・ インターネット	・ 渉外、窓口での情報提供 ・ インターネット、SNSの活用

<こどもくらぶ会員分析>



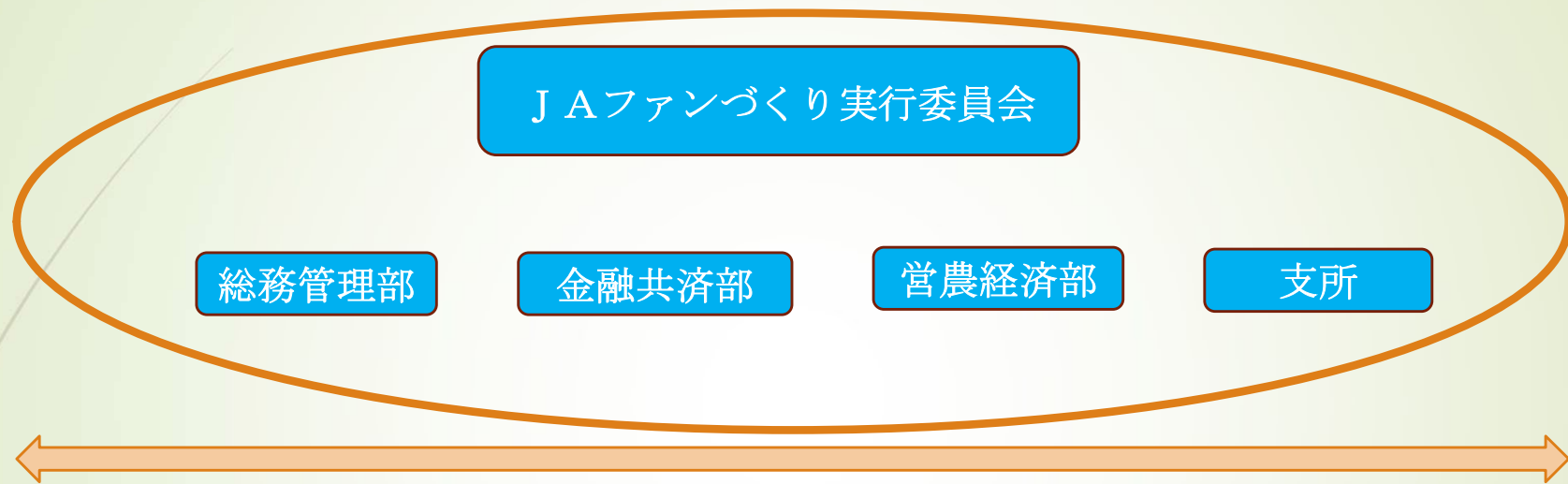
こどもくらぶ会員数 推移			
R1年度末	R2年度末	R3年度末	R4年11月末
2,462	2,354	2,140	2,296

新規会員 加入経緯		
新規会員		
599	インターネット	
	95	Instagram
		6



※加入分析は10月25日現在のこどもくらぶ会員世帯と11月までの新契約実績で集計している。

②事業間をつなぐ戦略



横の事業間をつなぐ

各部・支所の強みを活かした連携で、総合事業力を発揮する。

- ・ 農業体験、職場体験
- ・ 子育て世帯向けの米の販売 → 地域農業への貢献
JAの社会的責任

< J A 山口県全体戦略 >



未来へつなぐ【経営基盤強化戦略】

農業と食料の維持・確保と財務基盤の安定化

- 持続可能な農業基盤の確保に努め、消費者へ安全・安心な農産物を提供し続けていく。
- 組合員・利用者へサービスを提供し続けていくことができる盤石な経営基盤を構築する。



幸せをつなぐ【組織・取引基盤強化戦略】

魅力あるJA事業の提供、魅力あるJA運動・JA活動の提供

- 事業を通じて組合員・利用者みなさまに喜び・満足・安心を提供していく。
- 組織活動などを通じて組合への理解を深めてもらい、協同の輪を広げていく。



真心でつなぐ【人材強化戦略】

親しみと信頼をもった職員づくりと組合員・利用者との接点づくり

- 組合員・利用者が親しみやすく信頼がおけ、営農・生活（暮らし）の中で拠りどころとなれる役職員となる。
- 組合員・利用者とはふれあう回数を増やし、より身近な存在となる。

つなぐをつなぐ【情報戦略（コミュニケーション戦略）】
システムを活用した総合事業としての総合力の発揮

「つなぐ」を合言葉に、全役職員が真心をもって組合員・利用者へ接し、
最大限の魅力と喜びを提供することで、
組織基盤・取引基盤を広げ、次代へつないでいくことを真意とした全体戦略。

おわりに

- ▶ 各戦略によって若年層とJAをつなぐ
- ▶ 事業間の連携によって総合事業への利用へとつなぐ
- ▶ これからも地域に必要とされ、安定した経営基盤の確立につながる